

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	24
施設名	葛飾区渋江保育園
施設所在地	葛飾区東四つ木2-15-11
法人名	葛飾区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

匂い、味
『ダシの不思議』

<テーマの設定理由>

「給食に出る味噌汁は味噌の色、味噌の味だけどすまし汁は何の色、何の味なんだろう？」と疑問を持った子がいたことから「匂い」「味」をテーマとして設定する。
“ダシ”への関心を深める取り組みを行い、食育にも繋げていく。

2. 活動スケジュール

令和7年11月7日 ききダシ
ききダシ後は毎日給食配膳時に給食当番が“きょうのだし”を発表する。
令和8年2月6日 疑似干物作り & 昆布を実際に水で戻してみる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・調理師の調理工程を見学し関心を深める。
- ・調理師の協力を得て“ききダシ”の取り組みを行う。実際にダシの匂いを嗅いだり飲み比べてみたりしてどのダシがおいしかったか投票したり、オリジナル合わせダシを作ってみる体験をする。
- ・ダシを知っていく中で「煮干しは何の魚だろう。」と疑問を持つ子もいたので魚の図鑑を置いて調べられるようにする。
- ・ききダシ後、「煮干しを作りたい。」という声が子どもたちからあがり、スポンジや和紙などを用いて干物に近い物を準備する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<ききダシ>

ダシについて学び、実際に嗅ぎ比べたり飲み比べた子どもたちの声やランキングを表にする。

<疑似干物作り>

魚の形に切ったメラミンスポンジと昆布に見立てた和紙を水に浸して天日干しにし経過を観察する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・ききダシでは匂いをかいだ時点では「かつおぶしい匂い！」と人気であったが、実際に飲んでみると香りに比べて味が薄いと感じたようで煮干しダシが圧倒的人気を集めた。

・疑似干物作りでは天日干しをすると徐々に乾いていく過程を楽しんでいた。「(乾いていく様子が)洗濯物みたい。」「軽くなった!」「大きさも変わるのすごい!」と気づきを共有していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが何気なく興味を持ったことがきっかけとなり、日々の給食や家庭の料理に使われているダシへの関心が深まった。また、ききダシの取り組み以降、普段あまり食が進まない子も進んで食べるようになり、汁物メニューが連日一鍋空っぽになるほどの人気になった。興味を持ったことを深掘りしたり実際に触れてみることで探求心が大きくなるだけでなく、食育にもつながった。